

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2012年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 競技場の仕様について

競走路は全天候舗装である。

3. 練習会場および練習について

練習は指定された練習場で競技役員の指示に従うこと。

4. 招集について

(1) 招集所は、陸上競技場第1ゲート(100mスタート後方)側に設置する。

(2) 各競技の招集開始時刻・終了時刻は、その競技開始時刻を基準として下記の要領で行う。

| 競 技 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|-------------|----------|----------|
| ト ラ ッ ク 競 技 | 競技開始40分前 | 競技開始20分前 |
| 走高跳・走幅跳・三段跳 | 競技開始70分前 | 競技開始30分前 |
| 棒 高 跳 | 競技開始90分前 | 競技開始50分前 |
| 投 て き 競 技 | 競技開始70分前 | 競技開始30分前 |

(3) 競技者は、招集完了時刻までに招集所で点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ・商標等の点検を受ける。

(4) 他の種目に出場している等の特別の事情がある場合のみ、代理人による招集を認める。この場合、必ず競技者係に申し出ること。

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

5. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、日本陸上競技連盟登録番号のものを使用し、ユニフォームの胸部・背部につける。ただし、走高跳・棒高跳に出場する競技者は、胸部または背部のいずれかにつけるだけでよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は、招集受付時に写真判定用腰ゼッケンを受け取り、所定の位置に取り付け、競技終了後フニッシュライン付近で競技役員に必ず返却すること。

6. 競技の抽選および番組編成について(レーン順・試技順)

(1) 予選・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順・試技順は主催者が抽選しプログラムに記載する。

(2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びそのレーン順は、記録掲示板に掲示する。

(3) トラック競技において、タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時は、写真判定の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選する。

7. 競技について

(1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内(トラック・フィールド)に立ち入ることはできない。

(2) スターターの合図は英語とする。(「On your marks」, 「Set」)

(3) 競技規則第162条7項により、不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。

(4) 短距離走では競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

(5) 跳躍・投てき競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。個人所有のものは認めない。

(6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。ただし、状況により変更することもあり得る。

| 種目 | 種別 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 以降 |
|-----|-----------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 走高跳 | 成年・少年共通男子 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m90 | 3cm |
| | 成年女子 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | ----- | 3cm |
| 棒高跳 | 少年共通男子 | 3m20 | 3m40 | 3m60 | 4m80 | 4m00 | ----- | 10cm |
| | 成年・少年共通女子 | 2m00 | 2m20 | 2m40 | 2m60 | 2m80 | 3m00 | 10cm |

(7) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置をあらかじめ当該競技役員により申し出ること。その後の位置変更したい場合も、当該競技役員に申し出ること。

(8) 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9m地点に設置する。

8. 抗議・上訴について

(1) 競技中に生じた競技者の行為または順位等に関する抗議は、競技規則第146条に定めている時間内(予選は15分以内、決勝は30分以内)に競技者自身または代理人から担当総務員を通じて審判長に対して口頭で申

し出ること。

- (2) 審判長によってなされた裁定に不満の場合は、公式発表後30分以内に預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出ること。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。
ただし、棒高跳用のポールについては、個人所有のものを使用できるが、その検査は競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。
- (2) 投てき用具については、個人所有の持ち込みを認める。
ただし、希望者は競技開始60分前までに検査を受けること。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。検査場所は第1ケート付近で行う。

10. 競技用靴について

本競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。
ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。また、スパイクピンの先端の直径は4mm以内とする。

11. 表彰について

各種目の1位から3位の競技者には、賞状を授与する。

12. 更衣室について

- (1) 更衣室は本競技場の1階に用意されている。
- (2) 更衣室は更衣のみ使用できる。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (3) 貴重品類は各自で管理する。万一の紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。

13. その他

- (1) 本大会での各種目の優勝者が、国体選手として選考されるとは限らない。
- (2) 応急処置を必要とする事故が生じた場合は、大会本部に連絡をして処置を受ける。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、以後主催者は責任を負わない。
- (3) ゴミは各自・各チームにて処理すること。
- (4) 記録はその都度発表するが、別に設置する記録掲示板(正面玄関右側付近)に掲示する。
- (5) プログラム記載事項に訂正がある場合は、競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行うこと。(手続き用紙は大会本部にて用意する。)
- (6) 記録証明書を希望する競技者は、大会本部に一部300円を添えて申し出ること。